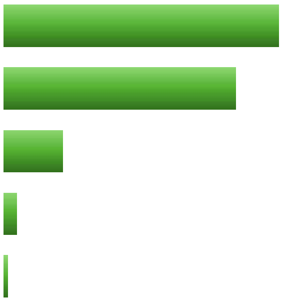
令和8年度前期　短期大学部　学修振り返りアンケート

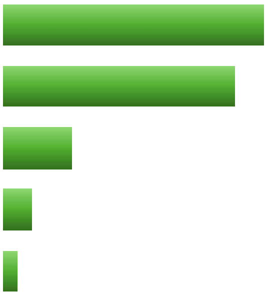
回答期間	履修者数(延べ)*	回答者数(延べ)	回答率	
令和8年7月10日(金)～7月24日(金)	2257人	777人	34.4%	(前年35.4%)

1）この授業を受けることで、シラバスに記載されている内容について自分の知識や考えが深まりましたか。



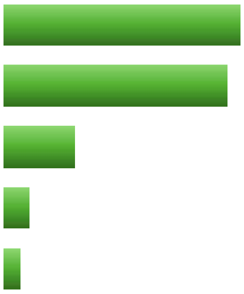
	比率
5(非常にそう思う)	47%
4(そう思う)	40%
3(どちらとも言えない)	10%
2(そう思わない)	2%
1(全くそう思わない)	1%
平均値	4.30

2）あなたは教員やほかの学生に対して質問をしたり、考えを伝えることができましたか。



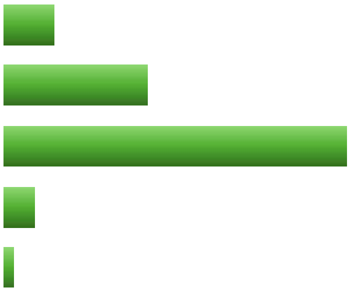
	比率
5(非常にそう思う)	43%
4(そう思う)	38%
3(どちらとも言えない)	11%
2(そう思わない)	5%
1(全くそう思わない)	2%
平均値	4.15

3)あなたは教員やほかの学生からフィードバックを受け取る機会をもてましたか。



	比率
5(非常にそう思う)	41%
4(そう思う)	39%
3(どちらとも言えない)	12%
2(そう思わない)	5%
1(全くそう思わない)	3%
平均値	4.10

4)あなたにとってこの授業の難易度はどのくらいでしたか。



	比率
5(難しい)	9%
4(やや難しい)	25%
3(適切)	59%
2(やや易しい)	5%
1(易しい)	2%
平均値	3.33

5)この授業で指示された授業時間外学修の分量はどうでしたか。
授業時間外学修には事前学修や授業後に回答するWebテストやe-learning、レポートなどを含みます。

	比率
5(多い)	7%
4(やや多い)	14%
3(適切)	73%
2(やや少ない)	4%
1(少ない)	2%
平均値	3.21

6) あなたはこの授業に対して、1週間で平均何時間、予習(授業時間を除く)をしていますか。
教員から指示された事前学修、自主的な準備学修も計算に入れてください。

	比率
5(3時間以上)	4%
4(2～3時間)	6%
3(1～2時間)	19%
2(30分～1時間)	28%
1(30分未満)	44%
平均値	1.97

7) あなたはこの授業に対して、1週間で平均何時間、復習(授業時間を除く)をしていますか。なお、授業後に回答するWebテストやe-learning、レポートや定期試験等のための勉強時間も計算に入れてください。

	比率
5(3時間以上)	4%
4(2～3時間)	10%
3(1～2時間)	21%
2(30分～1時間)	30%
1(30分未満)	35%
平均値	2.18

8) この授業においてシラバス記載の学修到達目標は達成できましたか。

	比率
5(ほぼ達成できた)	32%
4	32%
3	20%
2	5%
1(全く達成できなかった)	0%
0(学修到達目標を知らない)	11%
平均値	3.58

* アンケート回答者がいなかった科目は、履修者数を計上していない。

短期大学部ディプロマ・ポリシーに関する設問の回答結果

全学共通設問に加えて、短期大学部独自の設問として、ディプロマ・ポリシー（以下 DP）に関する問いを設けた（設問、DP は後掲）。設問 Q12～Q15 は、それぞれ DP1～DP4 に対応しており、学生が授業を通じて当該 DP に関わる学修成果をどの程度身についたと感じているかを把握することを目的としている。

各設問の全科目平均値は 4.04～4.17 であり、いずれも 4 点を上回った。学生の自己評価においては、各項目とも高い水準にあることが確認された。

なお、短期大学部履修要項では、各科目が対応する DP 項目が、主対応・副対応の別に明示されている。そこで DP 項目ごとに「当該 DP に対応すると位置付けられている科目」と「対応していない科目」に分類し、それぞれ設問平均値を比較した。主対応科目に限定すると、DP1～DP3 はいずれも非対応科目群の平均値を上回った。特に DP1 では相対的に大きな差がみられた。一方、副対応を含めた対応科目群では、DP1・DP3 で非対応科目群を上回ったものの、DP2・DP4 ではほとんど差がみられなかった。なお、DP4 の主対応科目の平均値は高いものの、延べ回答件数が 9 件と少ないため、結果の解釈には留意が必要である。

以上から、主対応科目では DP1～DP3 についてカリキュラム上の DP 対応関係と学生の自己評価がおおむね整合する傾向がみられた。特に DP1・DP3 については、副対応を含めた場合にも同様の傾向が確認された。

DP	設問	全科目平均	対応科目 （主のみ）	対応科目 （主＋副）	非対応科目	主対応－非対応	主対応科目 延べ回答件数
1	Q12	4.17	4.21	4.20	4.06	+0.15	283
2	Q13	4.06	4.10	4.06	4.06	+0.04	81
3	Q14	4.15	4.16	4.20	4.08	+0.08	359
4	Q15	4.04	4.67	4.03	4.05	+0.62	9

参考

短期大学部独自設問

Q11　この授業を通じて、ビジネス社会で広く必要とされる汎用的なスキル（例：思考力、表現力、社会人基礎力など）が高まったと感じますか。

Q12　この授業を通じて、自分の将来のキャリアや働き方について考える手がかりが得られたと感じますか。

Q13　この授業を通じて、将来役立つ専門的な知識やスキルが身についたと感じますか。

Q14　この授業を通じて、文化や社会、考え方などについて多様な価値観があることを理解し、協働する力が高まったと感じますか。

※回答選択肢は「非常にそう思う」「そう思う」「どちらとも言えない」「そう思わない」「全くそう思わない」の５択

短期大学部ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

短期大学部では、本学の「教育の目的」と「建学の精神」に基づいたカリキュラムを通して、ビジネスパーソンとして社会に求められ、貢献できる人材を育成します。そして、以下に示す水準に達した学生に対して、短期大学士(経営学)の学位を授与します。

1　ビジネス社会で必要となる汎用的能力(教養、知識、思考力、スキル)を修得している。

2　キャリアデザインが求められる社会的背景を理解するとともに、キャリアデザインに関する基本的な知識やスキルを修得している。

3　経営学・商学・経済学を中心に、その関連分野を含めた専門分野の基礎的知識、スキルを修得し、ビジネス社会において活用できる。

4　個人的及び社会的責任感をもち、文化や社会が多様であることに理解を深めるとともに、多様な人々と協働できる。